

資料編

- 資料1 計画の策定経過
- 資料2 目標値と計画収集量
- 資料3 用語の解説

資料1 計画の策定経過

(1) 策定経過

本計画は、平成24年度（2012年度）に家庭系のごみ排出実態調査を、平成26年度（2014年度）に事業系のごみ排出実態調査をそれぞれ実施し、基礎的情報を把握した後、平成28年7月に廃棄物減量等推進審議会に対して諮問を行い、翌年平成29年8月に答申を受けました。

(2) 豊中市廃棄物減量等推進審議会での検討経過

① 審議会等開催状況

会議等	開催日程	内 容 等
第1回	平成28年（2016年） 7月4日（月） 13：00～15：00	①委員紹介 ②市長からの諮問 ③審議会の進め方について（審議内容、スケジュール等） ④豊中市のごみ処理・リサイクルの現状と動向について ⑤ごみ減量計画の施策評価について
第2回	平成28年（2016年） 10月3日（月） 13：00～15：10	①豊中市のごみ処理の課題（論点）整理について ②第4次一般廃棄物処理基本計画の目標設定の考え方について ③平成27年度第3次ごみ減量計画事業評価報告書について
第3回	平成28年（2016年） 11月30日（水） 10：00～12：00	①ごみの減量目標について ②家庭系ごみ減量の取組みの方向性について ③事業系ごみ減量の取組みの方向性について ④災害廃棄物に関する取組みの方向性について
第4回	平成29年（2017年） 1月24日（火） 14：00～15：30	①第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の骨子案について ②平成29年度の廃棄物減量等推進審議会の進め方について（案）
第5回	平成29年（2017年） 5月23日（火） 10：00～12：00	①第4回廃棄物減量等推進審議会における振り返りについて ②第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（答申案）について ③第4次豊中市ごみ減量計画の策定の方向性について
第6回	平成29年（2017年） 7月25日（火） 10：00～12：00	①第5回廃棄物減量等推進審議会における振り返りについて ②第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（答申案）について ③第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（答申案）に基づく第4次豊中市ごみ減量計画（骨子案）について
答申	平成29年（2017年） 8月24日（木） 15：00～16：00	会長より市長へ答申
第7回	平成29年（2017年） 9月13日（水） 10：00～12：00	①第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画策定に係る答申の報告について ②第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（素案）について ③第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（素案）に基づく第4次豊中市ごみ減量計画（素案）について ④計画の進行管理及び評価方法について
第8回	平成30年（2018年） 1月22日（月） 10：00～12：00	①第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画策定に係るパブリックコメント結果について ②第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画（案）及び第4次豊中市ごみ減量計画（案）について

② 豊中市廃棄物減量等推進審議会委員名簿
〔第10期豊中市廃棄物減量等推進審議会委員名簿〕

(敬称略・規則順・50音順)

		(氏名)	(所属・勤務先)	(備考)
学識経験者	1	浅利 美鈴	京都大学地球環境学堂 准教授	副会長
	2	花嶋 温子	大阪産業大学 講師	
	3	渡辺 信久	大阪工業大学工学部 教授	会長
市民	4	仲尾 孝司	公募市民	
	5	中西 彰子	公募市民	
	6	山田 浙雄	公募市民	
	7	新開 悦子	特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21	
	8	中澤 和子	とよなか消費者協会	
	9	長谷川 清道	廃棄物減量等推進員	
事業者	10	神保 利博	日本チェーンストア協会関西支部 株式会社阪食総務部部长	
	11	東 能久	豊中商工会議所 事務局長	
	12	岡田 佳男	マリンフード株式会社 技術顧問	
※1	13	米田 弘樹	大阪再生資源業界近代化協議会豊中支部長 米田産業株式会社代表取締役	
※2	14	澤村 正良	豊中環境事業協同組合副理事長 エアポート企業株式会社代表取締役	
※3	15	大西 悟	連合大阪豊中地区協議会 (豊中市従業員労働組合書記長)	

※1 再生資源業者

※2 廃棄物処理業者

※3 市長が特に必要と認める者

※審議会委員数は条例にて15名以内。任期は2年間（平成28年3月1日～平成30年2月28日）。

※所属・勤務先は平成28年(2016年)3月1日現在。

豊環減第 172 号

平成 28 年(2016 年)7 月 4 日

豊中市廃棄物減量等推進審議会

会長 様

豊中市長 浅利敬一郎



一般廃棄物の減量の促進及び適正処理に関する事項等について (諮問)

このことについて、次のとおり意見を求めます。

記

1. 第 4 次豊中市一般廃棄物処理基本計画の策定について

(趣旨)

本市におきましては、平成 22 年度に「第 3 次豊中市一般廃棄物処理基本計画」、平成 23 年度に、ごみ減量のアクションプランである「2020 ごみ減量プラン (第 3 次豊中市ごみ減量計画)」を策定し、協働とパートナーシップに基づき「もったいない」のここらでつくる循環型社会を基本理念に掲げ、ごみの量を平成 32 年度には平成 21 年度より 20 パーセント削減することを目標に、市民・事業者・行政の三者での取組みを進めてきました。

本市の廃棄物行政におきましては、両計画に基づき、平成 24 年度に豊中市伊丹市クリーンランドの施設整備に伴って新分別収集を開始したほか、レジ袋削減をはじめとした環境配慮行動の推進、再生資源集団回収の活性化、事業所への適正処理にむけた情報提供の充実、食品ロス削減施策の推進などの取組みにより、市民、事業者の皆様のご協力もいただき、ここ数年のごみ排出量は減少傾向にあります。

しかしながら、本市のごみの最終処分先である大阪湾広域臨海環境整備センターの埋立処分場は逼迫している状況にあり、また、上位計画である「豊中市総合計画」及び分野別計画である「環境基本計画」が急激な社会状況の変化をうけ、新たな計画策定に着手するはこびとなっております。このことから、上位計画との整合を図り、将来の循環型社会・低炭素社会形成の実現に向けた長期的・総合的な取組みをさらに進めるため、現行の一般廃棄物処理基本計画を見直し、新たに平成 30 年度を初年度とする「第 4 次一般廃棄物処理基本計画」を策定するに当たり、本審議会に意見を求めるものです。

■答申

平成29年（2017年）8月24日

豊中市長 浅利 敬一郎 様

豊中市廃棄物減量等推進審議会

会長 渡辺 信



平成28年（2016年）7月4日付けで、本審議会に対して意見を求められた事項について、別紙のとおり答申します。

豊中市廃棄物減量等審議会意見答申

第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の策定について

平成29年（2017年） 8月

豊中市廃棄物減量等推進審議会

1. はじめに

豊中市におきましては、平成22年度（2010年度）に「第3次豊中市一般廃棄物処理基本計画」（以下「現行基本計画」という。）、平成23年度（2011年度）に、現行基本計画のアクションプランである「2020ごみ減量プラン（第3次豊中市ごみ減量計画）」を策定し、協働とパートナーシップに基づき「もったいない」のこころでつくる循環型社会を基本理念に掲げ、ごみの量を平成32年度（2020年度）には平成21年度（2009年度）より20パーセント削減することを目標に、市民・事業者・行政の三者での取組みを進めてきました。

両計画を策定した時期は、全国的動向として、都市の人口減少が進行していたこともあり、現行基本計画においても将来人口は減少すると見込まれていたうえ、ごみ減量の取組みが強化されることにより、焼却処理量は将来にわたり減少し続けるものとして新ごみ焼却施設の規模が検討されました。ところが、近年の豊中市の人口は、教育文化都市として、良好な住環境等が評価され、また、千里ニュータウン地域の大規模集合住宅の建て替え時期とも重なったことで、現行基本計画策定時に想定した人口と実際のそれとは大きな乖離がある状況です。当面の間、人口は微増傾向が続く可能性があります。現在は、市民一人ひとりの努力により焼却処理量の増加は抑えられていますが、このままでは現行基本計画に掲げる目標について達成することが困難な状況であります。現在、豊中市伊丹市クリーンランドのごみ焼却処理施設は、現行基本計画策定時の計画量（約100千t/年）を上回るごみが搬入されており、余力を持って処理することが困難な状況となっていること、また、豊中市のごみの最終処分先である大阪湾広域臨海環境整備センターの埋立処分場については、今後とも安定的な最終処分場を確保するため、延命化を図る必要もあることから、今後さらにごみ減量を進めていく必要があります。

一方、現行基本計画の上位計画である「豊中市総合計画」及び「環境基本計画」は、急激な社会的状況の変化を受け、両計画とも、今年度中に見直す予定となっております。

以上のことから、上位計画との整合を図り、将来の循環型社会・低炭素社会の実現に向けた長期的・総合的な取組みをさらに進めるため、「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の策定」について、本審議会に意見を求められたものです。

本審議会においては、循環型社会形成推進基本法をはじめ、これと前後して制定・改正された資源有効利用促進法や個別リサイクル法、また、市のごみ処理・リサイクルの現状とこれまで計画に基づき取組みを進めてきた施策の評価を踏まえ、新たな計画の策定について審議しました。

2. 審議経過

審議会においては、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の策定における減量目標の設定について審議したのち、家庭系ごみと事業系ごみの減量の取組みを踏まえて、基本理念・基本方針等について審議しました。

3. 審議結果

平成30年度（2018年度）を初年度とし、平成34年度（2022年度）を中間目標年度、平成39年度（2027年度）を最終目標年度とする「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の策定」について審議した結果は以下のとおりです。

（1）ごみ減量目標について

豊中市伊丹市クリーンランドのごみ焼却処理施設において、現行基本計画策定時の計画量（100千t/年）を上回るごみが搬入されており、余力を持って処理することが困難な状況となっている現状と、将来の人口動向を鑑み、新たなごみ減量に関する目標を設定する必要があると考えます。

このような観点から、第4次一般廃棄物処理基本計画の目標として、ごみの焼却処理量を平成28年度（2016年度）実績より、平成34年度（2022年度）に4%削減することを中間目標とし、平成39年度（2027年度）には大阪府内自治体の上位水準をめざす焼却処理量8%削減を最終目標とすること、また、これを達成するための個別目標として「家庭系ごみ1人1日当たりの量（再生資源を除く。）の削減」、「事業系ごみ（再生資源を除く。）の削減」、「資源化率の向上」を掲げることが適当であると認めます。

（2）協働とパートナーシップによるごみの減量について

事業系ごみの減量に係って事業者に対して、ごみ減量への取組みを積極的に支援するなど、事業者と行政が協働とパートナーシップで取組んでいく姿勢を打ち出す必要があります。

（3）表現等について

分かりやすい用語やグラフ等を用いて、市民・事業者が理解しやすい表現にする必要があります。

本審議会は、今後とも豊中市の基本理念である「協働とパートナーシップ」の具体化と、その着実な実行により、市民・事業者とともに循環型社会の構築という目標達成に向けて一層の努力を進めることを望みます。

資料2 目標値と計画収集量

行番号	実績		予測→		初年度					
	平成28年度 2016		平成29年度 2017		平成30年度 2018	平成31年度 2019	平成32年度 2020			
	365		365		365	366	365			
人口		[1]	396,014	396,818	397,623	398,427	399,231			
★①'から引用	発生量 ① (集団回収量等含む)	家庭系ごみ ①-1	t/年	[2]	79,456.95	79,600	79,763	80,144	80,084	
		平成28=100	[3]	100	100	100	101	101		
		原単位(g/人/日)	[4]	549.7	549.6	549.6	549.6	549.6		
	事業系ごみ ①-2 (庁内古紙量、共同回収事業等の回収量含む)	平成28=100	[5]	100	100	100	100	100		
		t/年	[6]	43,698.79	43,796	43,884	44,094	44,061		
		平成28=100	[7]	100	100	100	101	101		
	臨時・公共系ごみ ①-3	原単位(g/人/日)	[8]	302.3	302.4	302.4	302.4	302.4		
		平成28=100	[9]	100	100	100	100	100		
		t/年	[10]	1,431.65	1,434	1,437	1,444	1,443		
	発生量合計 ①	平成28=100	[11]	100	100	100	101	101		
		原単位(g/人/日)	[12]	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9		
		平成28=100	[13]	100	100	100	100	100		
		t/年	[14]	124,587.39	124,830	125,084	125,682	125,588		
	原単位 横ばい とした 場合の 収集量等 の推移	家庭系ごみ	収集量	可燃ごみ	[18]	57,042.71	57,153	57,269	57,542	57,501
				可燃ごみ原単位	[19]	394.6	394.6	394.6	394.6	394.6
				不燃ごみ	[20]	1,878.43	1,883	1,887	1,896	1,894
				不燃ごみ原単位	[21]	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
粗大ごみ				[22]	917.09	912	914	919	918	
粗大ごみ原単位				[23]	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	
危険ごみ				[24]	0.00	0	0	0	0	
使用済み小型家電(ボックス回収・イベント回収)				[25]	4.08	4	4	4	4	
再生資源				古紙・古布	[26]	6,270.60	6,286	6,299	6,329	6,324
				ガラスびん	[27]	2,256.92	2,259	2,264	2,275	2,273
				ペットボトル	[28]	732.41	739	740	744	743
				空き缶・危険ごみ	[29]	572.20	573	575	577	577
				プラスチック包装	[30]	3,705.70	3,708	3,715	3,733	3,730
小計				[31]	13,537.83	13,565	13,593	13,658	13,647	
計				[32]	73,380.14	73,517	73,667	74,019	73,964	
集団回収等				[33]	6,076.32	6,083	6,096	6,125	6,120	
古紙・古布(古紙資源買取市含む)				[34]	5,959.75	5,966	5,979	6,007	6,002	
びん・缶	[35]	116.57	117	117	118	118				
計	[36]	6,076.32	6,083	6,096	6,125	6,120				
その他(臨時ごみリユース)	[37]	0.49	0	0	0	0				
合計	[38]	79,456.95	79,600	79,763	80,144	80,084				
①'	事業系ごみ	収集量	許可業者	[39]	37,178.97	37,252	37,328	37,506	37,479	
			許可業者ごみ原単位	[40]	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	
			自己搬入	[41]	5,920.22	5,938	5,950	5,979	5,974	
		自己搬入ごみ原単位	[42]	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0		
		計	[43]	43,099.19	43,190	43,278	43,485	43,453		
		教育施設等資源化(許可業者収集)	[44]	7.78	8	8	8	8		
		ガラスびん	[45]	0.96	1	1	1	1		
		プラスチック包装	[46]	4.55	4	4	4	4		
		空き缶・危険ごみ	[47]	2.27	3	3	3	3		
		庁内古紙回収	[48]	400.88	406	406	408	408		
		共同回収事業(酒販組合)	[49]	3.01	3	3	3	3		
		インクカートリッジ里帰りプロジェクト	[50]	0.38	0	0	0	0		
		剪定枝直接リサイクル [とよっぴー]	[51]	12.60	13	13	13	13		
		給食残渣(たい肥化) [とよっぴー]	[52]	153.36	154	154	155	154		
		機密文書リサイクル事業	[53]	21.59	22	22	22	22		
		合計	[54]	43,698.79	43,796	43,884	44,094	44,061		
		臨時・公共系ごみ(家電4品目含む)	[55]	1,431.65	1,434	1,437	1,444	1,443		
総発生量	[56]	124,587.39	124,830	125,084	125,682	125,588				
★最終目標× 達成率×人 口×365 (又は366)日	発生抑制 ②	家庭系	達成率	[57]	0%	0%	5%	10%	20%	
			発生抑制量	[58]	0.0	0.0	0.2	0.3	0.6	
			最終目標→		3.0g/人/日					
	計 ②-1	[59]	0	0	29	44	87			
	事業系	達成率	[60]	0%	0%	5%	10%	20%		
		発生抑制量	[61]	0.0	0.0	0.5	0.9	1.8		
最終目標→			9g/人/日							
計 ②-2	[62]	0	0	73	131	262				
発生抑制 計	[63]	0	0	102	175	349				

	中間目標年度						最終目標年度		
平成33年度 2021	平成34年度 2022	平成35年度 2023	平成36年度 2024	平成37年度 2025	平成38年度 2026	平成39年度 2027	行番号	備考	
365	365	366	365	365	365	366			
399,249	399,267	399,286	399,304	399,322	398,954	398,586	[1]	第4次豊中市総合計画前期基本計画に基づく平成32年度、平成37年度、平成42年度の人口が直線的に推移するものとして各年度の人口を推定。ただし、平成28年度は市の推計人口	
80,088	80,093	80,316	80,099	80,104	80,031	80,175	[2]		
101	101	101	101	101	101	101	[3]		
549.6	549.6	549.6	549.6	549.6	549.6	549.6	[4]		
100	100	100	100	100	100	100	[5]		
44,064	44,065	44,189	44,070	44,072	44,031	44,111	[6]		
101	101	101	101	101	101	101	[7]		
302.4	302.4	302.4	302.4	302.4	302.4	302.4	[8]		
100	100	100	100	100	100	100	[9]		
1,443	1,443	1,447	1,443	1,443	1,442	1,444	[10]		
101	101	101	101	101	101	101	[11]		
9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	[12]		
100	100	100	100	100	100	100	[13]		
125,595	125,601	125,952	125,612	125,619	125,504	125,730	[14]		
101	101	101	101	101	101	101	[15]		
862	862	862	862	862	862	862	[16]		
100	100	100	100	100	100	100	[17]		
57,503	57,506	57,666	57,511	57,514	57,461	57,565	[18]		
394.6	394.6	394.6	394.6	394.6	394.6	394.6	[19]		
1,894	1,895	1,900	1,895	1,895	1,893	1,896	[20]		
13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	[21]		
918	918	921	918	918	917	919	[22]		
6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	[23]		
0	0	0	0	0	0	0	[24]		
4	4	4	4	4	4	4	[25]		
6,325	6,325	6,342	6,325	6,326	6,320	6,331	[26]		
2,273	2,273	2,280	2,274	2,274	2,272	2,276	[27]		
743	743	745	743	743	743	744	[28]		
577	577	579	577	577	577	578	[29]		
3,731	3,731	3,741	3,731	3,731	3,728	3,735	[30]		
13,649	13,649	13,687	13,650	13,651	13,640	13,664	[31]		
73,968	73,972	74,178	73,978	73,982	73,915	74,048	[32]		
6,120	6,121	6,138	6,121	6,122	6,116	6,127	[33]	割合(平成28年度実績) 98.08% 1.92%	
6,002	6,003	6,020	6,003	6,004	5,999	6,009	[34]		
118	118	118	118	118	117	118	[35]		
6,120	6,121	6,138	6,121	6,122	6,116	6,127	[36]		
0	0	0	0	0	0	0	[37]		
80,088	80,093	80,316	80,099	80,104	80,031	80,175	[38]		
37,481	37,482	37,587	37,486	37,488	37,453	37,521	[39]		
257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	257.2	[40]		
5,975	5,975	5,992	5,976	5,976	5,970	5,981	[41]		
41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	[42]		
43,456	43,457	43,579	43,462	43,464	43,423	43,502	[43]		
8	8	8	8	8	8	8	[44]		
1	1	1	1	1	1	1	[45]		
4	4	4	4	4	4	4	[46]		
3	3	3	3	3	3	3	[47]		
408	408	409	408	408	408	408	[48]		
3	3	3	3	3	3	3	[49]		
0	0	0	0	0	0	0	[50]		
13	13	13	13	13	13	13	[51]		
154	154	155	154	154	154	155	[52]		
22	22	22	22	22	22	22	[53]		
44,064	44,065	44,189	44,070	44,072	44,031	44,111	[54]		
1,443	1,443	1,447	1,443	1,443	1,442	1,444	[55]		
125,595	125,601	125,952	125,612	125,619	125,504	125,730	[56]		
40%	60%	70%	80%	90%	95%	100%	[57]		
1.2	1.8	2.1	2.4	2.7	2.9	3.0	[58]	家庭系ごみ中の手付かず食品+レジ袋の量(約6.3%＝約30g/人/日)の10%(3g/人/日)を平成39年度までに削減	
175	262	307	350	394	422	438	[59]		
40%	60%	70%	80%	90%	95%	100%	[60]		
3.6	5.4	6.3	7.2	8.1	8.6	9.0	[61]	事業系ごみ中の発生抑制対象ごみ(20%＝約60g/人/日)の15%(9g/人/日)を平成39年度までに削減	
525	787	921	1,049	1,181	1,252	1,313	[62]		
700	1,049	1,228	1,399	1,575	1,674	1,751	[63]		

		行番号	実績 平成28年度 2016	予測→ 平成29年度 2017	初年度 平成30年度 2018	平成31年度 2019	平成32年度 2020	
人口		[1]	396,014	396,818	397,623	398,427	399,231	
発生抑制後の 排出量 ③ ★③=①-③	家庭系ごみ ③-1	[64]	79,456.95	79,600	79,734	80,100	79,997	
		[65]	100	100	100	101	101	
		[66]	549.7	549.6	549.4	549.3	549.0	
	事業系ごみ ③-2	[67]	43,698.79	43,796	43,811	43,963	43,799	
		[68]	100	100	100	101	100	
		[69]	302.3	302.4	301.9	301.5	300.6	
		[70]	119.7	120.0	120.0	120.1	120.0	
	臨時・公共等 ③-3	[71]	1,431.65	1,434	1,437	1,444	1,443	
	発生抑制後の排出量 計	[72]	124,587.39	124,830	124,982	125,507	125,239	
		[73]	100	100	100	101	101	
	[74]	861.9	861.9	861.2	860.7	859.5		
	[75]					排出抑制率平成24 比△0.2% 平成23. 比△3.1%		
	[76]					国: △12%(平成24比)		
資源化 目標量 ⑥ ★最終目標× 達成率×人 口×365 (又は366)日 [家庭系] ※既存 +新規	古紙類 (雑がみ含む) 最終目標: 99.3g/人/日	原単位(g/人/日)	[77]	77.9	77.9	80.0	83.3	86.5
		達成率	[78]	0%	0%	10%	25%	40%
		t/年	[79]	11,261.05	11,283	11,611	12,147	12,605
	集団回収&再生資源買取市	原単位(g/人/日)	[80]	39.1	39.1	40.0	41.6	43.1
		t/年	[81]	5,653.51	5,663	5,806	6,066	6,281
	分別収集	原単位(g/人/日)	[82]	38.8	38.8	40.0	41.7	43.4
		t/年	[83]	5,607.54	5,620	5,805	6,081	6,324
	ペットボトル 最終目標: 4.5g/人/日	原単位(g/人/日)	[84]	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
		達成率	[85]	0%	0%	10%	20%	30%
		t/年	[86]	630.69	637	639	642	641
	分別収集・拠点	原単位(g/人/日)	[87]	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
		t/年	[88]	630.69	637	639	642	641
	プラスチック 製容器包装 最終目標: 22.0g/人/日 ※教育施設からの回収分含まず	原単位(g/人/日)	[89]	20.7	20.7	20.8	21.0	21.1
		達成率	[90]	0%	0%	10%	20%	30%
		t/年	[91]	2,996.48	2,998	3,019	3,062	3,075
	分別収集 (許可業者分除く)	原単位(g/人/日)	[92]	20.7	20.7	20.8	21.0	21.1
		t/年	[93]	2,996.48	2,998	3,019	3,062	3,075
	古布 最終目標: 5.9g/人/日	原単位(g/人/日)	[94]	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
		達成率	[95]	0%	0%	10%	20%	30%
		t/年	[96]	835.14	840	842	846	845
	集団回収&再生資源買取市	原単位(g/人/日)	[97]	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
		t/年	[98]	306.24	305	307	311	310
	分別収集(現状維持)	原単位(g/人/日)	[99]	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
		t/年	[100]	528.90	535	535	535	535
	缶 最終目標: 4.4g/人/日 ※教育施設からの回収分含まず	原単位(g/人/日)	[101]	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2
		達成率	[102]	0%	0%	10%	20%	30%
		t/年	[103]	586.93	594	595	612	612
集団回収(現状推移)	原単位(g/人/日)	[104]	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
	t/年	[105]	116.57	117	117	117	117	
分別収集 (許可業者分除く)	原単位(g/人/日)	[106]	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	
	t/年	[107]	470.36	477	478	495	495	
小型家電 最終目標: 0.25g/人/日	原単位(g/人/日)	[108]	0.03	0.03	0.05	0.07	0.10	
	達成率	[109]	0%	0%	10%	20%	30%	
	t/年	[110]	4.08	4	7	10	15	
分別収集・拠点	原単位(g/人/日)	[111]	0.00	0.03	0.05	0.07	0.10	
	t/年	[112]	4.08	4	7	10	15	
びん 最終目標: 14.8g/人/日 ※教育施設からの回収分含まず	原単位(g/人/日)	[113]	14.2	14.2	14.3	14.3	14.4	
	達成率	[114]	0%	0%	10%	20%	30%	
	t/年	[115]	2,045.37	2,057	2,075	2,085	2,098	
集団回収(現状推移)	原単位(g/人/日)	[116]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	t/年	[117]	0.00	0	0	0	0	
分別収集 (許可業者分除く)	原単位(g/人/日)	[118]	14.2	14.2	14.3	14.3	14.4	
	t/年	[119]	2,045.37	2,057	2,075	2,085	2,098	
臨時ごみリユース 最終目標: 0.015g/人/日	原単位(g/人/日)	[120]	0.003	0.003	0.004	0.005	0.007	
	増加率	[121]	0%	0%	10%	20%	30%	
	t/年	[122]	0.49	0	1	1	1	
臨時ごみリユース	原単位(g/人/日)	[123]	0.003	0.003	0.004	0.005	0.007	
	t/年	[124]	0.49	0	1	1	1	
家庭系ごみ資源化目標量 計	原単位(g/人/日)	[125]	127.1	127.1	129.5	133.1	136.5	
[合計最終目標] 151.2g/人/日	t/年	[126]	18,360.23	18,413	18,789	19,405	19,892	
	市収集量	[127]	12,283.42	12,328	12,558	12,910	13,183	
	集団回収量+買取市 +臨時ごみリユース量	[128]	6,076.81	6,085	6,231	6,495	6,709	
(5) / (4) (対家庭系ごみ発生抑制後 排出量資源化目標率)		[129]	23.1%	23.1%	23.6%	24.2%	24.9%	

	中間目標年度						最終目標年度		
平成33年度 2021	平成34年度 2022	平成35年度 2023	平成36年度 2024	平成37年度 2025	平成38年度 2026	平成39年度 2027	行番号	備考	
365	365	366	365	365	365	366			
399,249	399,267	399,286	399,304	399,322	398,954	398,586	[1]	第4次豊中市総合計画前期基本計画に基づく平成32年度、平成37年度、平成42年度の人口が直線的に推移するものとして各年度の人口を推定。ただし、平成28年度は市の推計人口	
79,913	79,831	80,009	79,749	79,710	79,609	79,737	[64]		
101	100	101	100	100	100	100	[65]		
548.4	547.8	547.5	547.2	546.9	546.7	546.6	[66]		
43,539	43,278	43,268	43,021	42,891	42,779	42,798	[67]		
100	99	99	98	98	98	98	[68]		
298.8	297.0	296.1	295.2	294.3	293.8	293.4	[69]		
119.3	118.6	118.2	117.9	117.5	117.2	116.9	[70]		
1,443	1,443	1,447	1,443	1,443	1,442	1,444	[71]		
124,895	124,552	124,724	124,213	124,044	123,830	123,979	[72]		
100	100	100	100	100	99	100	[73]		
857.1	854.7	853.5	852.3	851.1	850.4	849.9	[74]		
							[75]		
							[76]		
88.6	90.7	92.9	95.0	97.2	98.2	99.3	[77]	[最終目標] 99.3g/人/日	
50%	60%	70%	80%	90%	95%	100%	[78]		
12,911	13,218	13,576	13,846	14,167	14,300	14,486	[79]		
44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	48.5	49.0	[80]		
6.412	6.558	6.722	6.850	6.996	7.063	7.148	[81]		
44.6	45.7	46.9	48.0	49.2	49.7	50.3	[82]	[最終目標] 11.5g/人/日	
6,499	6,660	6,854	6,996	7,171	7,237	7,338	[83]	平成28年度実績+雑がみの2/3を行政回収	
4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	[84]	[最終目標] 4.5g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[85]		
641	656	658	656	656	655	656	[86]		
4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	[87]		
641	656	658	656	656	655	656	[88]		
21.2	21.4	21.5	21.6	21.7	21.9	22.0	[89]	[最終目標] 22.0g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[90]		
3,089	3,119	3,142	3,148	3,163	3,189	3,209	[91]		
21.2	21.4	21.5	21.6	21.7	21.9	22.0	[92]		
3,089	3,119	3,142	3,148	3,163	3,189	3,209	[93]		
5.8	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	[94]	[最終目標] 5.9g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[95]		
845	860	862	860	860	859	861	[96]		
2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	[97]		
310	325	327	325	325	324	326	[98]		
3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	[99]		
535	535	535	535	535	535	535	[100]		
4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	[101]	[最終目標] 4.4g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[102]		
612	627	628	627	627	641	642	[103]		
0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	[104]		
117	117	117	117	117	117	117	[105]		
3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6	[106]		
495	510	511	510	510	524	525	[107]		
0.12	0.14	0.16	0.18	0.21	0.23	0.25	[108]	[最終目標] 0.25g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[109]		
17	20	23	26	31	33	36	[110]		
0.12	0.14	0.16	0.18	0.21	0.23	0.25	[111]		
17	20	23	26	31	33	36	[112]		
14.4	14.5	14.6	14.6	14.7	14.7	14.8	[113]	[最終目標] 14.8g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[114]		
2,098	2,113	2,134	2,128	2,143	2,141	2,159	[115]		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	[116]		
0	0	0	0	0	0	0	[117]		
14.4	14.5	14.6	14.6	14.7	14.7	14.8	[118]		
2,098	2,113	2,134	2,128	2,143	2,141	2,159	[119]		
0.008	0.009	0.010	0.011	0.013	0.014	0.015	[120]	[最終目標] 0.015g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[121]	現在の5倍に増加	
1	1	1	2	2	2	2	[122]		
0.008	0.009	0.010	0.011	0.013	0.014	0.015	[123]		
1	1	1	2	2	2	2	[124]		
138.7	141.4	143.9	146.1	148.5	149.8	151.2	[125]		
20,214	20,614	21,024	21,293	21,649	21,820	22,051	[126]		
13,374	13,613	13,857	13,999	14,209	14,314	14,458	[127]		
6,840	7,001	7,167	7,294	7,440	7,506	7,593	[128]		
25.3%	25.8%	26.3%	26.7%	27.2%	27.4%	27.7%	[129]		

行番号	実績	予測→		初年度		平成31年度 2019	平成32年度 2020		
		平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	平成31年度 2019			平成32年度 2020	
		365	365	365	366	365	365		
	人口	[1]	396,014	396,818	397,623	398,427	399,231		
[事業系]	●多量排出事業所 古紙類	最終目標：75.2g/人/日							
	原単位(g/人/日)	[130]							
	達成率	[131]	73.5	73.5	73.7	73.8	74.0		
	t/年	[132]	0%	0%	10%	20%	30%		
	古紙類庁内古紙回収	最終目標：3.0g/人/日							
	原単位(g/人/日)	[133]	10,628.62	10,646	10,696	10,762	10,783		
	達成率	[134]	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9		
	t/年	[135]	0%	0%	10%	20%	30%		
	古紙類自主的資源化 (民間)	原単位(g/人/日)	[136]	400.88	406	406	408	423	
	達成率	[137]	70.8	70.7	70.9	71.0	71.1		
	t/年	[138]	10,227.74	10,241	10,290	10,354	10,360		
	缶・びん・その他	最終目標：6.7g/人/日							
	原単位(g/人/日)	[139]	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7		
	達成率	[140]	0%	0%	10%	20%	30%		
	t/年	[141]	969.40	970	972	977	976		
	許可業者 (教育施設)	ガラスびん	t/年	[142]	0.96	1	1	1	
	プラ製容器包装	t/年	[143]	4.55	4	4	4		
	空き缶・危険ごみ	t/年	[144]	2.27	3	3	3		
	缶・びん・その他自主的資源化 (民間)	原単位(g/人/日)	[145]	6.7	5.7	5.7	5.7	5.7	
	t/年	[146]	961.62	962	964	969	968		
	食品廃棄物	最終目標：42.1g/人/日							
	原単位(g/人/日)	[147]	21.6	21.6	23.7	25.7	27.8		
	達成率	[148]	0%	0%	10%	20%	30%		
	t/年	[149]	3,115.71	3,129	3,440	3,748	4,051		
	食品廃棄物資源化 (とよびー 給食残渣) 横ばい	原単位(g/人/日)	[150]	1.1	1.1	1.1	1.1		
	t/年	[151]	153.36	159	160	160	160		
	大規模事業所食品廃棄物資源化 (民間)	原単位(g/人/日)	[152]	20.5	20.5	22.6	24.6	26.7	
	t/年	[153]	2,962.35	2,969	3,280	3,587	3,891		
	●少量排出事業所								
	古紙等	最終目標5.4g/人/日							
	原単位(g/人/日)	[154]	1.1	1.1	1.5	1.9	2.4		
	達成率	[155]	0%	0%	10%	20%	30%		
	t/年	[156]	155.11	159	218	277	350		
	(内訳)	古紙等自主的資源化 (共同回収モデル事業等)	原単位(g/人/日)	[157]	0.021	0.047	0.447	0.847	1.347
	t/年	[158]	3.01	6	65	124	197		
	下記以外 横ばい (インクカードリッジ等)	原単位(g/人/日)	[159]	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
	t/年	[160]	0.38	0	0	0	0		
	機密文書リサイクル 横ばい	原単位(g/人/日)	[161]	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
	t/年	[162]	21.59	22	22	22	22		
	剪定枝(クリーンランド) 横ばい	原単位(g/人/日)	[163]	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	
	★施設搬入後資源化	t/年	[164]	79.23	80	80	80	80	
	剪定枝(街路樹) (とよびー 給食残渣) 横ばい	原単位(g/人/日)	[165]	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	
	t/年	[166]	12.60	13	13	13	13		
	ボックス回収(クリーンランド) 横ばい	原単位(g/人/日)	[167]	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	
	★施設搬入後資源化	t/年	[168]	38.30	38	38	38	38	
	事業系ごみ資源化目標量 計	原単位(g/人/日)	[169]	102.9	102.9	105.6	108.1	110.9	
	t/年	[170]	14,868.84	14,904	15,326	15,764	16,160		
	庁内取組・市関与	[171]	591.82	606	666	728	815		
	許可業者資源化	[172]	7.78	8	8	8	8		
	施設搬入後資源化 (剪定枝、リサイクルBOX)	[173]	117.53	118	118	118	118		
	民間自主的取組	[174]	14,151.71	14,172	14,534	14,910	15,219		
	新規資源化量(市受入削減量)	[175]	(0)		(382)	(758)	(1,067)		
	(対事業系ごみ発生抑制後 排出量資源化目標率)	[176]	34.0%	34.0%	35.0%	35.9%	36.9%		
[合計]	資源化目標量 合計 ★リサイクルプラザでの鉄等回収、小型家電ビックアップは除く	[177]	33,229	33,317	34,115	35,169	36,052		
	(対総ごみ発生抑制後排出量資源化目標率) (⑤/④)	[178]	26.7%	26.7%	27.3%	28.0%	28.8%		

	中間目標年度						最終目標年度		
平成33年度 2021	平成34年度 2022	平成35年度 2023	平成36年度 2024	平成37年度 2025	平成38年度 2026	平成39年度 2027	行番号	備考	
365	365	366	365	365	365	366			
399,249	399,267	399,286	399,304	399,322	398,954	398,586	[1]	第4次豊中市総合計画前期基本計画に基づく平成32年度、平成37年度、平成42年度の人口が直線的に推移するものとして各年度の人口を推定。ただし、平成28年度は市の推計人口	
							[130]		
74.2	74.4	74.5	74.7	74.9	75.0	75.2	[131]	【最終目標】75.2g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[132]		
10,813	10,842	10,887	10,887	10,917	10,921	10,970	[133]		
2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	[134]		
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[135]	【最終目標】3.0g/人/日	
423	423	424	423	437	437	438	[136]		
71.3	71.5	71.6	71.8	71.9	72.0	72.2	[137]		
10,390	10,419	10,463	10,464	10,480	10,484	10,532	[138]		
6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	[139]	【最終目標】6.7g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[140]		
976	976	979	976	977	976	977	[141]		
1	1	1	1	1	1	1	[142]		
4	4	4	4	4	4	4	[143]		
3	3	3	3	3	3	3	[144]		
5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	[145]		
968	968	971	968	969	968	969	[146]		
29.8	31.9	33.9	36.0	38.0	40.1	42.1	[147]	【最終目標】42.1g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[148]		
4,343	4,649	4,954	5,247	5,539	5,839	6,142	[149]		
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	[150]		
160	160	161	160	160	160	161	[151]		
28.7	30.8	32.8	34.9	36.9	39.0	41.0	[152]		
4,182	4,489	4,793	5,087	5,378	5,679	5,981	[153]		
							[154]		
2.8	3.2	3.7	4.1	4.5	5.0	5.4	[155]	【最終目標】5.4g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[156]		
408	466	541	598	656	728	788	[157]		
1,747	2,147	2,647	3,047	3,447	3,947	4,347	[158]		
255	313	388	445	503	575	635	[159]		
0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	[160]	横ばい	
0	0	0	0	0	0	0	[161]		
0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	[162]	横ばい	
22	22	22	22	22	22	22	[163]		
0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	[164]	横ばい	
80	80	80	80	80	80	80	[165]	★搬入量に含まれる	
0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	[166]	横ばい	
13	13	13	13	13	13	13	[167]		
0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	[168]	横ばい	
38	38	38	38	38	38	38	[169]	★搬入量に含まれる	
113.5	116.2	118.8	121.5	124.1	126.8	129.4	[170]		
16,540	16,933	17,361	17,708	18,089	18,464	18,877	[171]		
873	931	1,008	1,063	1,136	1,207	1,268	[172]		
8	8	8	8	8	8	8	[173]		
118	118	118	118	118	118	118	[174]	★搬入量に含まれる	
15,541	15,876	16,228	16,519	16,827	17,131	17,483	[175]		
(1,389)	(1,724)	(2,076)	(2,367)	(2,675)	(2,979)	(3,331)	[176]		
38.0%	39.1%	40.1%	41.2%	42.2%	43.2%	44.1%	[177]		
36,754	37,547	38,385	39,001	39,738	40,284	40,928	[178]		
29.4%	30.1%	30.8%	31.4%	32.0%	32.5%	33.0%	[179]		

	行番号	実績	予測→	初年度					
		平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	平成31年度 2019	平成32年度 2020			
		365	365	365	366	365			
人口		[1]	396,014	396,818	397,623	398,427	399,231		
市施設 受入量 ⑦	家庭系ごみ (市収集)	可燃ごみ	[180]	57,042.71	57,147	56,905	56,640	56,066	
			平成28=100	[181]	100	100	100	99	98
			原単位(g/人/日)	[182]	394.6	394.6	392.1	388.4	384.8
			平成28=100	[183]	100	100	99	98	98
		不燃ごみ	[184]	1,878.43	1,865	1,855	1,846	1,828	
			平成28=100	[185]	100	99	99	98	97
			原単位(g/人/日)	[186]	13.0	13	13	13	13
			平成28=100	[187]	100	99	98	98	96
		粗大ごみ (電話申告制)	[188]	917.09	912	914	919	918	
			可燃系	[189]	580.24	577	578	581	581
			不燃系	[190]	336.85	335	336	338	337
		資源ごみ	紙(雑がみ含む)・布	[191]	6,270.60	6,290	6,479	6,761	7,009
				異物	[192]	115.33	116	119	125
			残渣	[193]	18.83	19	20	20	21
			プラ製容器包装(発泡トレイ含む)	[194]	3,705.70	3,707	3,733	3,786	3,802
	異物			[195]	709.22	709	714	724	727
	空き缶(危険ごみ含む)		[196]	572.20	580	581	602	602	
			異物	[197]	101.84	103	103	107	107
	ガラスびん		[198]	2,256.92	2,270	2,290	2,301	2,315	
			異物	[199]	211.55	213	215	216	217
	ペットボトル		[200]	732.41	740	742	746	744	
			異物	[201]	101.72	103	103	104	103
	小計		[202]	13,537.83	13,587	13,825	14,196	14,472	
	平成28=100	[203]	100	100	102	105	107		
	異物	[204]	1,239.66	1,244	1,254	1,276	1,283		
	合計 ⑦-1	[205]	73,376.06	73,511	73,499	73,601	73,284		
	平成28=100	[206]	100	100	100	100	100		
	事業系ごみ	許可業者	[207]	37,186.75	37,232	36,813	36,498	35,943	
			可燃系	[208]	36,159.17	36,204	35,797	35,491	34,951
			不燃系	[209]	1,019.80	1,020	1,008	999	984
			資源系(教育施設)	[210]	7.78	8	8	8	8
		自己搬入	[211]	5,920.22	5,938	5,950	5,979	5,974	
			可燃系	[212]	5,548.26	5,565	5,576	5,604	5,599
			不燃系	[213]	371.96	373	374	375	375
		合計 ⑦-2	[214]	43,106.97	43,170	42,763	42,477	41,917	
		1人1日当たり	[215]	298.2	298.1	294.6	291.3	287.7	
		平成28=100	[216]	100	100	99	99	97	
	臨時・公共等	合計 ⑦-3	[217]	1,431.65	1,434	1,437	1,444	1,443	
		可燃系	[218]	1,287.11	1,289	1,292	1,298	1,297	
		不燃系	[219]	136.59	137	137	138	138	
		家電4品目	[220]	7.95	8	8	8	8	
	使用済み小型家電 ⑦-1'	[221]	4.08	4	7	10	15		
	合計	[222]	117,918.76	118,119	117,706	117,532	116,659		
	平成28=100	[223]	100	100	100	100	99		
	リサイクルプラザ (不燃物処理施設) マテリアルフロー	不燃・粗大	t/年	[224]	3,743.63	3,729.9	3,709.7	3,696.0	3,661.8
資源化施設から			[225]	1,239.66	1,244.0	1,254.0	1,276.0	1,283.0	
計		t/年	[226]	4,983.29	4,973.9	4,963.7	4,972.0	4,944.8	
平成28=100		[227]	100	100	100	100	99		
処理後の流れ		資源選別量(鉄・アルミ)	t/年	[228]	516.07	515	514	515	512
			最終目標:0.25g/人/日 原単位(g/人/日)	[229]	0.056	0.056	0.075	0.095	0.114
		小形家電	達成率	[230]	0%	0%	10%	20%	30%
		(ビックアップ回収)	t/年	[231]	8.13	8	11	14	17
		廃バッテリー	t/年	[232]	0.00	0	0	0	0
		資源化量 計	t/年	[233]	524.20	523	525	529	529
		焼却施設移行	t/年	[234]	3,083.67	3,077.9	3,071.6	3,076.7	3,059.9
		埋立処分	t/年	[235]	954.01	952.2	950.3	951.9	946.6
処理困難物		t/年	[236]	421.41	420.7	413.4	408.1	398.2	
リサイクルプラザ (資源化施設) マテリアルフロー	資源ごみ(外部処理、教育施設含む)	t/年	[237]	13,545.61	13,595	13,833	14,204	14,480	
		その他(家電4品目)	[238]	7.95	8.0	8.0	8	8	
	計	t/年	[239]	13,553.56	13,603.0	13,841.0	14,212	14,488	
	平成28=100	[240]	100	100	102	105	107		
	処理後の流れ	資源選別量(業者含む)	t/年	[241]	12,287.12	12,332.0	12,559.0	12,908.0	13,176.0
		その他(家電4品目)	t/年	[242]	7.95	8.0	8.0	8.0	8.0
		処理困難物(外部処理残渣)	t/年	[243]	18.83	19.0	20.0	20.0	21.0
不燃物処理施設移行		t/年	[244]	1,239.66	1,244.0	1,254.0	1,276.0	1,283.0	

	中間目標年度						最終目標年度		
平成33年度 2021	平成34年度 2022	平成35年度 2023	平成36年度 2024	平成37年度 2025	平成38年度 2026	平成39年度 2027	行番号	備考	
365	365	366	365	365	365	366			
399,249	399,267	399,286	399,304	399,322	398,954	398,586	[1]	第4次豊中市総合計画前期基本計画に基づく平成32年度、平成37年度、平成42年度の人口が直線的に推移するものとして各年度の人口を推定。ただし、平成28年度は市の推計人口	
55,655	55,192	54,957	54,436	54,053	53,794	53,695	[180]		
98	97	96	95	95	94	94	[181]		
381.9	378.7	376.1	373.5	370.9	369.4	368.1	[182]		
97	96	95	95	94	94	93	[183]		
1,828	1,795	1,784	1,779	1,762	1,743	1,731	[184]		
97	96	95	95	94	93	92	[185]		
13	12	12	12	12	12	12	[186]		
96	95	94	94	93	92	92	[187]		
918	918	921	918	918	917	919	[188]		
581	581	583	581	581	580	581	[189]	可燃系の割合	
337	337	338	337	337	337	338	[190]	63.27%	
7,188	7,352	7,551	7,696	7,875	7,942	8,045	[191]	異物＋残渣混入率	
132	135	139	142	145	146	148	[192]	2.14% (調整値)	
22	22	23	23	24	24	24	[193]	残渣割合 14.04%	
3,819	3,856	3,885	3,892	3,911	3,943	3,968	[194]	異物混入率	
730	737	743	744	748	754	759	[195]	19.12% (設定値)	
602	620	621	620	620	637	638	[196]	異物混入率	
107	110	110	110	110	113	113	[197]	17.73% (設定値)	
2,315	2,331	2,355	2,348	2,365	2,362	2,382	[198]	異物混入率	
217	218	221	220	222	221	223	[199]	9.37% (設定値)	
744	762	764	762	762	761	762	[200]		
103	106	106	106	106	106	106	[201]	13.89% (設定値)	
14,668	14,921	15,176	15,318	15,533	15,645	15,795	[202]		
108	110	112	113	115	116	117	[203]		
1,289	1,306	1,319	1,322	1,331	1,340	1,349	[204]		
73,069	72,826	72,838	72,451	72,266	72,099	72,140	[205]		
100	99	99	99	98	98	98	[206]		
35,302	34,648	34,192	33,615	33,104	32,623	32,218	[207]	可燃系、不燃系の割合	
34,327	33,692	33,248	32,687	32,190	31,722	31,328	[208]	97.24%	
967	948	936	920	906	893	882	[209]	2.74%	
8	8	8	8	8	8	8	[210]	0.02%	
5,975	5,975	5,992	5,976	5,976	5,970	5,981	[211]	可燃系の割合	
5,600	5,600	5,616	5,601	5,601	5,595	5,605	[212]	93.72%	
375	375	376	375	375	375	376	[213]		
41,277	40,623	40,184	39,591	39,080	38,593	38,199	[214]		
283.2	278.7	275.0	271.6	268.1	265.0	261.8	[215]		
96	94	93	92	91	90	89	[216]		
1,443	1,443	1,447	1,443	1,443	1,442	1,444	[217]	可燃系、不燃系の割合	
1,297	1,297	1,301	1,297	1,297	1,296	1,298	[218]	89.90%	
138	138	138	138	138	138	138	[219]	9.54%	
8	8	8	8	8	8	8	[220]		
17	20	23	26	31	33	36	[221]		
115,806	114,912	114,492	113,511	112,820	112,167	111,819	[222]		
98	97	97	96	96	95	95	[223]		
3,644.8	3,592.8	3,572.1	3,548.7	3,518.1	3,485.6	3,464.6	[224]		
1,289.0	1,306.0	1,319.0	1,322.0	1,331.0	1,340.0	1,349.0	[225]		
4,933.8	4,898.8	4,891.1	4,870.7	4,849.1	4,825.6	4,813.6	[226]		
99	98	98	98	97	97	97	[227]		
511	507	507	504	502	500	498	[228]		
0.134	0.153	0.172	0.192	0.211	0.231	0.250	[229]	ボックス回収と合わせて回収率30%＝ビッツアップ0.25g/人/日	
40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	[230]		
20	22	25	28	31	34	36	[231]		
0	0	0	0	0	0	0	[232]		
531	529	532	532	533	534	534	[233]		
3,053.1	3,031.4	3,026.6	3,014.0	3,000.6	2,986.1	2,978.7	[234]		
944.5	937.8	936.4	932.5	928.3	923.8	921.5	[235]		
392.3	385.0	376.7	370.2	359.8	352.8	347.4	[236]		
14,676	14,929	15,184	15,326	15,541	15,653	15,803	[237]		
8	8	8	8	8	8	8	[238]		
14,684	14,937	15,192	15,334	15,549	15,661	15,811	[239]		
108	110	112	113	115	116	117	[240]		
13,365.0	13,601.0	13,842.0	13,981.0	14,186.0	14,289.0	14,430.0	[241]		
8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	[242]		
22.0	22.0	23.0	23.0	24.0	24.0	24.0	[243]		
1,289.0	1,306.0	1,319.0	1,322.0	1,331.0	1,340.0	1,349.0	[244]		

	行番号	実績	予測→	初年度					
		平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	平成31年度 2019	平成32年度 2020			
		365	365	365	366	365			
人口	[1]	396,014	396,818	397,623	398,427	399,231			
その他クリーンランド内での資源化	焼却施設古紙類リサイクルBOX	t/年	[245]	38.30	38	38	38		
	剪定枝	t/年	[246]	79.23	80	80	80		
	計	t/年	[247]	117.53	118	118	118		
使用済み小型家電 (ボックス・イベント回収)	計	t/年	[248]	4.08	4.0	7.0	10.0	15.0	
焼却処理量 ⑩	家庭系ごみ	t/年	[249]	57,623	57,724	57,483	57,221	56,647	
	事業系ごみ(リサイクルボックス投入量除く)	t/年	[250]	41,590	41,651	41,255	40,977	40,432	
	臨時・公共等	t/年	[251]	1,287	1,289	1,292	1,298	1,297	
	不燃物処理後の可燃	t/年	[252]	3,083.67	3,078	3,072	3,077	3,060	
	焼却処理量合計 ⑩-1	t/年	[253]	103,583.63	103,742	103,102	102,573	101,436	
	平成28=100		[254]	100	100	100	99	98	
	原単位(g/人/日)	[255]	716.6	716.3	710.4	703.4	696.1		
最終処分量 ⑨	焼却灰 ⑨-1		[256]	13,336	13,352	13,269	13,201	13,055	
	破砕後の不燃物 ⑨-2		[257]	954	952	950	952	947	
	最終処分量 合計 ⑨		[258]	14,290	14,304	14,219	14,153	14,002	
			[259]					最終処分量 平成24比△21%	
			[260]					国: △14%(平成24比)	
		平成28=100	[261]	100	100	100	99	98	
	原単位(g/人/日)	[262]	98.9	98.8	98.0	97.1	96.1		
	平成28=100	[263]	100	100	99	98	97		
その他 ⑪ (処理困難物等)		[264]	440	440	433	428	419		
資源化量 ⑥	家庭系ごみ	市収集 ⑥-2 (使用済み小型家電ボックス等回収含む)	t/年	[265]	12,283.42	12,328	12,558	12,910	13,183
		市関与民間回収(集団回収等) ⑥-3	t/年	[266]	6,076.81	6,085	6,231	6,495	6,709
		家電4品目 ⑥-4	t/年	[267]	7.95	8	8	8	8
		合計 ⑥-1	資源化量合計(t/年)	[268]	18,368.18	18,421	18,797	19,413	19,900
		原単位(g/人/日)	[269]	127.1	127.2	129.5	133.1	136.6	
	事業系ごみ	庁内取組、市関与 ⑥-6	t/年	[270]	591.82	606	666	728	815
		許可業者分別収集 ⑥-7	t/年	[271]	7.8	8	8	8	8
		カーペット古紙ボックス回収、剪定枝⑥-8	t/年	[272]	117.53	118	118	118	118
		小計	t/年	[273]	717.1	732	792	854	941
			原単位(g/人/日)	[274]	5.0	5.1	5.5	5.9	6.5
		(参考)	t/年	[275]	14,151.7	14,172	14,534	14,910	15,219
	民間自主的取組 ⑥-9	原単位(g/人/日)	[276]	97.9	97.8	100.1	102.2	104.4	
	合計 ⑥-5	資源化量合計(t/年)	[277]	14,868.8	14,904	15,326	15,764	16,160	
		原単位(g/人/日)	[278]	102.8	102.9	105.6	108.1	110.8	
	リサイクルプラザでの選別回収 ⑥-10	t/年	[279]	524.20	523	525	529	529	
		原単位(g/人/日)	[280]	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	
	市関与による資源化量合計 ⑥ ※民間自主的取組は含まない	資源化量合計(t/年)	[281]	19,609.51	19,676	20,114	20,796	21,370	
	平成28=100	[282]	100.00	100	103	106	109		
	原単位(g/人/日)	[283]	135.7	135.8	138.6	142.6	146.7		
	資源化率(%)(対発生抑制後排出量)	[284]	15.7%	15.8%	16.1%	16.6%	17.1%		
	[(参考)国・府の目標]	[285]					国:27% 府:16%		
集団回収、再生資源を除く 排出量 ⑧	家庭系ごみ	集団回収&分別収集による 資源ごみ除く収集量(t/年) ⑧-1	[286]	59,838.23	59,924	59,674	59,405	58,812	
		原単位(g/人/日) ⑧-2	[287]	414.0	413.7	411.2	407.4	403.6	
		国・府の目標	[288]					国500g (府403g)	
	事業系ごみ	資源を除く事業系ごみ量 (t/年) ⑧-3	[289]	42,982	43,044	42,637	42,351	41,791	

	中間目標年度			最終目標年度				
平成33年度 2021	平成34年度 2022	平成35年度 2023	平成36年度 2024	平成37年度 2025	平成38年度 2026	平成39年度 2027	行番号	備考
365	365	366	365	365	365	366		
399,249	399,267	399,286	399,304	399,322	398,954	398,586	[1]	第4次豊中市総合計画前期基本計画に基づく平成32年度、平成37年度、平成42年度の人口が直線的に推移するものとして各年度の人口を推定。ただし、平成28年度は市の推計人口
38	38	38	38	38	38	38	[245]	
80	80	80	80	80	80	80	[246]	
118	118	118	118	118	118	118	[247]	
17.0	20.0	23.0	26.0	31.0	33.0	36.0	[248]	
56,236	55,773	55,540	55,017	54,634	54,374	54,276	[249]	
39,809	39,174	38,746	38,170	37,673	37,199	36,815	[250]	
1,297	1,297	1,301	1,297	1,297	1,296	1,298	[251]	
3,053	3,031	3,027	3,014	3,001	2,986	2,979	[252]	
100,395	99,275	98,614	97,498	96,605	95,855	95,368	[253]	
97	96	95	94	93	93	92	[254]	
688.9	681.2	674.8	669.0	662.8	658.3	653.7	[255]	
12,921	12,777	12,692	12,548	12,433	12,337	12,274	[256]	焼却灰発生率(平成28年度実績 12.87%)
945	938	936	933	928	924	922	[257]	
13,866	13,715	13,628	13,481	13,361	13,261	13,196	[258]	
							[259]	
							[260]	
97	96	95	94	93	93	92	[261]	
95.2	94.1	93.3	92.5	91.7	91.1	90.5	[262]	
96	95	94	94	93	92	92	[263]	
414	407	400	393	384	377	371	[264]	
13,374	13,613	13,857	13,999	14,209	14,314	14,458	[265]	★異物を除くネット資源化量
6,840	7,001	7,167	7,294	7,440	7,506	7,593	[266]	集団回収量+買取市+臨時ごみリユース量
8	8	8	8	8	8	8	[267]	
20,222	20,622	21,032	21,301	21,657	21,828	22,059	[268]	
138.8	141.5	143.9	146.2	148.6	149.9	151.2	[269]	
873	931	1,008	1,063	1,136	1,207	1,268	[270]	
8	8	8	8	8	8	8	[271]	
118	118	118	118	118	118	118	[272]	
999	1,057	1,134	1,189	1,262	1,333	1,394	[273]	
6.9	7.3	7.8	8.2	8.7	9.2	9.6	[274]	
15,541	15,876	16,228	16,519	16,827	17,131	17,483	[275]	
106.6	108.9	111.0	113.3	115.4	117.6	119.8	[276]	
16,540	16,933	17,362	17,708	18,089	18,464	18,877	[277]	
113.5	116.2	118.8	121.5	124.1	126.8	129.4	[278]	
531	529	532	532	533	534	534	[279]	鉄等破砕後の選別回収+小型家電ピックアップ回収+
3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	[280]	バッテリー回収
21,752	22,208	22,698	23,022	23,452	23,695	23,987	[281]	
111	113	116	117	120	121	122	[282]	
149.3	152.4	155.3	158.0	160.9	162.7	164.4	[283]	
17.4%	17.8%	18.2%	18.5%	18.9%	19.1%	19.3%	[284]	
							[285]	
58,401	57,905	57,662	57,133	56,733	56,454	56,345	[286]	定期収集ごみ(可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ)
400.8	397.3	394.6	392.0	389.2	387.7	386.2	[287]	
							[288]	
41,151	40,497	40,058	39,465	38,954	38,467	38,073	[289]	

家庭系ごみの減量目標の設定

(平成 28 年度 (2016 年度) 基準) 資源化ベース (平成 28 年 (2016 年) 度資源化実績量、平成 24 年豊中市家庭ごみ排出実態調査等から設定)

品目	資源化の実績(t)				合計(t)	1人1日当たりの資源化量実績(g/人/日)③=①+②	可燃+不燃ごみへの排出状況(平成28)		分別等協力率④÷③+④	目標			
	集団回収+買取市平成28(t)	集団回収(原単位g/人/日)①	分別収集平成28資源化ベース(t)	分別収集平成28(原単位g/人/日)②			ごみ中の割合(平成24家庭系ごみ実調査)	1人1日当たり排出量(g/人/日)④		目標分別等協力率⑤	新規1人1日当たりの減量目標(g/人/日)③+④×⑤-③		
紙類	段ボール	895.43	6.2	1,110.87	7.7	2,006.30	13.8	1.8%	7.3	65.4%	70%	1.0	
	紙パック	6.55	0.0	10.90	0.1	17.45	0.1	0.37%	1.5	6.3%	30%	0.4	
	新聞・雑誌・書籍・折り込み広告	4,751.53	32.9	4,485.77	31.0	9,237.30	63.7	3.6%	14.7	81.3%	85%	2.9	
	雑がみ	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	10.6%	43.2	0.0%	40%	17.3	
計	5,653.51	39.1	5,607.54	38.8	11,261.05	77.7	16.37%	66.7	53.8%	—	—	21.6	
プラスチック類	ペットボトル	0.00	0.0	630.69	4.4	630.69	4.4	0.06%	0.1	97.8%	99%	0.1	
	白色発泡トレイ	0.00	0.0	0.33	0.0	0.33	0.0	0%	0.0	100.0%	100%	0.0	
	その他のプラスチック製容器包装	0.00	0.0	2,996.15	20.7	2,996.15	20.7	2.1%	8.6	70.6%	75%	1.3	
計	0.00	0.0	3,627.17	25.1	3,627.17	25.0	2.16%	8.8	74.0%	—	—	1.4	
布類	古布	306.24	2.1	528.90	3.7	835.14	5.8	0.98%	4.0	59.2%	60%	0.1	
金属類	缶(スチール缶)	10.26	0.1	294.27	2.0	304.53	2.1	0.16%	0.7	75.0%	90%	0.4	
	缶(アルミ缶)	106.31	0.7	176.09	1.2	282.40	1.9	0.03%	0.1	95.0%	95%	0.0	
	小型家電等(ピックアップ除く)	0.00	0.00	4.07	0.03	4.07	0.03	0.40%	1.63	1.8%	15%	0.22	
計	116.57	0.8	474.43	3.3	591.00	4.1	0.59%	2.4	63.1%	—	—	0.6	
ガラス類	びん	0.00	0.0	2,045.37	14.2	2,045.37	14.1	0.56%	2.3	86.0%	90%	0.7	
合計		6,076.32	42.0	12,283.41	85.0	18,359.73	126.7	40.96%	167.0	43.1%	—	—	24.4

注) 雑がみの可燃+不燃ごみ中への排出割合は紙箱、紙袋・包装紙等の計5.3%の2倍と設定。上記資源化量には許可業者が収集している教育施設分(事業系ごみ)は含まない。

事業系ごみの減量目標の設定 (平成 28 年度基準)

大規模事業所	廃棄物全体	平成28		ごみ量 14.461t		新規資源化量				資源化目標	
		自主的資源化量(t)	市民1人1日当たり(g/人/日)①	ごみとして排出されている資源化可能物量(減量計画書から)(t)	市民1人1日当たり(g/人/日)②	実績分別等協力率③=①÷②+②	目標分別等協力率④	新規1人1日当たりの目標g/人/日⑤=(①+②)×④-①	備考		
古紙類		10,628.62	73.5	1438.96	10.0	88.0%	→ 90%	1.7		75.2	
	(市内古紙)	(400.88)	(2.8)	—	—	—	—	(0.2)	1割(内数)	(3.0)	
缶びん・その他	許可業者教育施設→	969.40	6.7	3,688.36	25.5	20.8%	—	0.0	現状のまま	6.7	
	(缶)	(2.27)	(0.00)	—	—	—	—	0.0			
	(びん)	(0.96)	(0.00)	—	—	—	—	0.0			
	(容ブラ)	(4.55)	(0.00)	—	—	—	—	0.0			
食品廃棄物(給食残渣含む)	魚あら+廃食用油+厨芥類	2,962.35	20.5	給食残渣含む(153.36t)	9206.15	63.7	24.3%	→ 50%	21.6	※食品リサイクル法の外食産業の平成31目標50%を参考に設定	42.1
小規模事業所		平成28	ごみ量	28.638t	H39			新規資源化量		資源化目標	
		自主的資源化量(t)	市民1人1日当たり(g/人/日)		平成28ごみ組成調査から推定した事業系ごみ中の資源化物量(t)	市民1人1日当たり(g/人/日)	実績分別等協力率	目標分別等協力率	g/人/日	既存+新規	
古紙等	インクカートリッジ	0.38	0.0								
	リサイクルボックス(クリーンランド)	38.30	0.3								
	共同回収モデル事業	3.01	0.0								
	機密文書	21.59	0.1								
	剪定枝(とよびびり以外も含む)	91.82	0.6								
計	155.10	1.1		5,012.00	34.7	3.1%	→ 15%	4.3		5.4	
事業系ごみ合計		14,715.47	101.8					27.6		129.4	

資料3 用語の解説

あ 行

■アダプトシステム事業

アダプト（ADOPT）とは、英語で「養子縁組をする」という意味。市民が自ら住んでいる地域のまちを美しくしようとする取り組みを、行政とのパートナーシップにより推進し、地域に暮らす市民・事業者が里親となって、市と覚書を交わし、道路などの公共の場所を清掃する制度。

具体的には、市民・事業者の団体が美化清掃を行い、行政は美化清掃を行う団体へ清掃用具の提供等を行う。

■eMIRAIE環境交流センター

平成17年（2005年）4月に開所した施設で、市民・事業者の3R活動を推進するための地域拠点であり、実践と交流・支援、情報発信の活動を行う場として3Rに関連した様々な事業に取り組んでいる。

■一般廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた「産業廃棄物以外の廃棄物」。具体的には、家庭や食堂、商店、事務所などから排出される台所ごみ、紙くずなどのこと。

■違法簡易広告物追放推進団体（とよなか美はり番）

地域に密着した市民・事業者の団体の活動により、違法な広告物を許さない地域環境づくりを推進するために、違法簡易広告物の除却を地域団体等に委任する制度。

■エコショップ制度

環境に配慮した取組みを行うお店（小売店や飲食店等）から申請をいただき、審査を経た後、豊中エコショップとして認定。さらに、その取組みの充実や向上が見られる豊中エコ

ショップを「優良」店舗にステップアップ認定する制度。

■NPO（Non-Profit-Organization）

法人格をもった、ボランティア団体や市民活動団体である民間非営利組織のことで、医療・福祉や環境保全、災害復興、地域興しなど様々な分野で活動する団体が含まれる。

■大阪湾広域臨海環境整備センター

近畿2府4県の市町村の廃棄物の広域的な処分・再利用を図るため、昭和56年（1981年）に制定された「広域臨海環境整備センター法」に基づき昭和57年（1982年）3月に設立された団体。通称は、大阪湾フェニックスセンター。

大阪湾フェニックス計画に基づき、廃棄物の最終処分先として、大阪湾に埋立処分場を建設し、廃棄物の埋立等を行っている。現在、尼崎沖、泉大津沖、大阪沖、神戸沖の4カ所の処分場がある。

か 行

■拡大生産者責任

（Extended Producer Responsibility）

自ら生産する製品等について、生産・流通・使用段階だけでなく、使用後に製品が廃棄されて処理・リサイクルされる段階まで生産者の責任を拡大しようとする考え方。平成12年（2000年）6月施行の「循環型社会形成推進基本法」に明記されている。

■環境基本法

平成5年（1993年）に制定された環境に関する分野について国の政策の基本的な方向を示す法律。平成4年の国連環境開発会議（地球サミット）で合意したリオ宣言を前提に、3章46条と付則からなる。基本理念として「環境の恵沢の享受と継承等」「環

境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築等」「国際的協調による地球環境保全の積極的推進」の3つを定め、国、地方公共団体、事業者及び国民の環境の保全に係る責務を明らかにしている。

■基本フレーム

将来の計画を立てる場合に、あらかじめ決めておかなければならない数値的な枠組み。人口、ごみ量などの将来の目標値。

■共同回収モデル事業

事業系ごみの減量に向けて、酒販組合豊能第二部会で平成19年度(2007年度)に実験事業として実施した再生資源の共同回収によるリサイクルの取り組み。実験期間終了後も、団体の自主事業として継続実施されている。

■許可業者（一般廃棄物収集運搬）

市町村長から許可を受けた収集運搬業者のこと。廃棄物処理法では、一般廃棄物の収集・運搬を市町村で行うことが困難な場合は、市町村長から許可を受けた収集運搬業者が、排出事業所から収集・運搬を請け負ってもよいこととなっている。

■拠点回収

本市においては、市民・事業者・行政が協働したリサイクル事業を推進するため、小売店舗や公共施設等の拠点において、ペットボトル・食品白色トレイ・インクカートリッジ・使用済小型家電・水銀使用廃製品の回収を行っている。

■減量計画書

延べ床面積が3,000㎡以上又は一般廃棄物の排出量が月3トン以上の事業所を多量排出事業所として位置づけ、(事業

系一般廃棄物)減量計画書の提出を求めており、それらの資料をもとに、立入調査や個別指導を実施している。(これまでの月5トン以上から月3トン以上に変更(平成30年(2018年)4月から))

■公共下水道

区域内の汚水や雨水を管渠で集め、汚水は処理してから放流し、雨水はそのまま排除するための下水道で、終末処理場を有するかまたは流域下水道に接続しているもの。原則として、市町村が建設・管理を行う。

■ごみ有料化

自治体が行うごみ処理費用の一部または全部を、ごみの排出者が税金とは別に、ごみ処理手数料として負担する制度のこと。指定ごみ袋に手数料を上乗せする有料指定袋制や、手数料の証紙としてシールなどを販売する方法などがある。

さ行

■災害廃棄物

地震や風水害等の災害時に発生する廃棄物のこと。災害廃棄物は、様々な種類を含む廃棄物が一度に大量に発生し、通常時とは異なる体制・迅速な処理が求められる。

■再生資源集団回収

地域団体が地域で再生資源の回収を行うこと。ごみの減量及び資源のリサイクルを進めるため、市では地域での再生資源の回収を行う地域団体と再生資源を回収する行商者に、報奨金を交付している。

■在宅医療廃棄物

在宅医療に関わる医療処置に伴い、家庭から排出される可能性のある廃棄物をいう。なお、「在宅医療」は、医師、看護

師等の訪問を伴うもの（往診、訪問診療、訪問看護等）、医師等の訪問を伴わないもの（在宅療養）の両方をいう。

■サニテーション

下水処理施設。豊中市サニテーションは平成3年（1991年）から稼動していたが、公共下水道の普及に伴い平成20年（2008年）3月に閉鎖した。同年4月からは「伊丹市し尿公共下水放流施設」を利用している。

■産業廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同施行令で定められた工場などの事業活動から出る廃棄物で、燃えがら、汚泥、廃油、廃プラスチック類、建設廃材など20種類が指定されている。

■循環型社会

廃棄物の処理に優先順位を設け、廃棄物等の発生抑制、循環資源の循環的な利用及び適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り抑制される社会をいう。

■循環型社会形成推進基本法

省庁ごとに個別に取り組みられてきた廃棄物処理及び再資源化関連法を総括する基本的枠組み法として、平成12年（2000年）5月に制定された。併せて廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）とリサイクル法（再生資源利用促進法）の改正、建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）、食品リサイクル法（食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律）、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）も一体的に成立している。

■浄化槽

公共もしくは民間、個人が設置する、微生物の働きにより汚水をきれいにして放流できる状態まで浄化する装置のこと。下水道や農業集落排水などを整備することが困難な地域に設置する。

■使用済小型家電

携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電の部品にはレアメタルなどの貴重な資源が使用されており、これらを再生利用することを目的としている。本市では、平成28年（2016年）1月から市役所や図書館等に回収ボックスを設置し、回収を行っている。

■食品ロス

食品廃棄物のうち、食べ残しや賞味期限切れに伴い廃棄されたものなど、本来食べられるにもかかわらず捨てられているもの。

■水銀使用廃製品

地球規模での水銀汚染防止をめざす「水銀に関する水俣条約」が平成25年（2013年）に採択され、市町村においても、蛍光管等の水銀使用廃製品の適正な処理が求められている。豊中市では、市内に専用回収ボックスを設置し、平成29年（2017年）7月から、水銀を使用した蛍光管、体温計・血圧計及び電池類の拠点回収を始めている。回収した水銀使用廃製品は安全に収集・運搬され、適正に処理される。

■3R（スリーアール）

「リデュース（Reduce：廃棄物等の発生抑制）・リユース（Reuse：再使用）・リサイクル（Recycle：再生利用）」の頭文字をとった、廃棄物をできるだけ出さない社会をつくるための基本的な考え方。

平成12年（2000年）に制定された「循環型社会形成推進基本法」では、廃棄物処理やリサイクルの優先順位を(1)リデュース、(2)リユース、(3)リサイクルとし、さらに(4)熱回収（サーマルリサイクル）、(5)廃棄物の適正処理としている。

■生活排水

調理、洗濯、入浴、し尿など、日常生活に伴い公共用水域に排出される排水のこと。

■生物化学的酸素要求量

（BOD；Biochemical Oxygen Demand）

河川中の汚染物質が水中の微生物により酸化され炭酸ガスなどに分解されるとき、微生物が必要とする酸素量をいい、数値（mg／l）が大きいほど水質汚濁の著しいことを示す。

た 行

■第4次豊中市総合計画

総合計画とは、市政運営の根幹となるまちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための基本方針を示す計画である。平成30年（2018年）に策定した第4次豊中市総合計画では、平成39年度（2027年度）を目標年度とし、「みらい創造都市 とよなか～明日がもっと楽しみなまち～」をまちの将来像とし、「子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり」「安全に安心して暮らせるまちづくり」「活力ある快適なまちづくり」「いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり」を施策体系に将来像の実現をめざしている。

■第3次豊中アジェンダ21

「第3次豊中市環境基本計画」と両輪となり環境保全を進めるために、市民・事業者・行政が協働とパートナーシップで取り組みを

進める自主的な行動計画で、平成30年度（2018年度）から平成39年度（2027年度）を計画期間とする。平成11年（1999年）3月に策定された「第1次豊中アジェンダ21」、平成23年（2011年）6月に策定された「第2次豊中アジェンダ21」の取り組みを振り返り、市民・事業者・行政によるパートナーシップ組織「とよなか市民環境会議」が主体となり平成30年（2018年）3月に策定。

■第3次豊中市環境基本計画

豊中市環境基本条例に基づき、市のめざす目標と施策の枠組みを明らかにし、市民・事業者・行政のパートナーシップのもとに総合的・計画的に取り組むことを目的とする行政計画で、平成30年度（2018年度）から平成39年度（2027年度）を計画期間としている。

■堆肥化・バイオマス化

【堆肥化】

厨芥類などの生ごみや落ち葉をバクテリア等の微生物によって分解し、堆肥をつくること。

【バイオマス化】

再生可能な生物由来の有機性資源（バイオマス）をつくること（化石燃料を除く。）。廃棄物系バイオマスとしては、廃棄される紙、家畜排せつ物、食品廃棄物、建設発生木材、黒液、下水汚泥などがある。主な活用方法としては、農業分野における飼肥料としての利用や汚泥をレンガ原料などの建築資材としての利用するほか、燃焼して発電を行ったり、アルコール発酵、メタン発酵などによる燃料化などのエネルギー利用などがある。

■地域清掃

個人・団体などの地域住民による自発

的な地域での清掃活動のことで、本市では清掃用具の提供・貸出を行うとともに、ごみ袋の配布とごみの収集を行っている。

■中間処理

廃棄物の最終処分に先立って、廃棄物を無害化・安定化・減量化・再生利用するための人為的な操作をいい、焼却、破砕、圧縮、脱水、中和、蒸留、コンクリート固型化などの方法がある。

■超高齢社会

高齢化率（65歳以上人口が総人口に占める割合）が21%以上の社会をいう。また、高齢化率が14%以上21%未満を高齢社会といい、7%以上14%未満を高齢化社会という。

日本は昭和45年（1970年）に高齢化社会に、平成6年（1994年）に高齢社会になり、平成19年（2007年）には超高齢社会となった。日本の高齢化率は、平成28年（2016年）10月現在で、27.3%である。

■2R（ツアール）

3R（スリーアール）の「リデュース（Reduce：廃棄物等の発生抑制）・リユース（Reuse：再使用）・リサイクル（Recycle：再生利用）」のうち、リサイクルよりも取組みの優先順位がより高いリデュースとリユースの2つを示している。循環型社会構築のために、リサイクルよりも取組みが進んでいない2Rの取組みをより進めていくことが必要である。

■適正処理困難物

自治体が処理する一般廃棄物のうち、その適正な処理が全国各地で困難であると認められるものを環境大臣が指定する。またこれ以外にも、豊中市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例により市長が指定することができる。

■豊中市美しいまちづくりの推進に関する条例

美しいまちづくりを推進するため、市・市民等・事業者・団体の役割、ポイ捨て・犬のふんの放置、美観を損なう屋外広告物の表示等の防止と空き地の適正管理について必要な事項を定めた条例。平成17年（2005年）施行。

は行

■廃棄物

占有者が自ら利用し、または、他人に有償で売却することができないため不要になった物をいう。廃棄物処理法では、「ごみ、粗大ごみ、燃えがら、汚泥、ふん尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物の死体その他の汚物又は不要物であって、固形状又は液状のもの（放射性物質及びこれによって汚染されたものを除く。）」と定義し、産業廃棄物と一般廃棄物に大別される。

■廃棄物減量等推進員

一般廃棄物の減量のための施策への協力など、市民の自主的活動を通じて、地域に密着したごみの減量、再資源化を推進することを目的とした制度。市長からの委嘱を受けた推進員は、ごみの減量、再資源化を推進する活動を地域で行っている。

■廃棄物処理法

正式には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」。廃棄物の定義や処理責任、処理方法や処理施設に係る基準など、廃棄物の減量化と適正処理に関する基本的な法律である。

■廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

平成5年（1993年）に交付された廃棄物の減量の促進や、適正処理、地域の環

境美化の推進について定めた豊中市の条例。平成27年（2015年）に、新たに再生資源等の持ち去り禁止規定を設け、「市並びに市から一般廃棄物の収集又は運搬の委託を受けた者及び再生資源集団回収登録行商者以外の者」が「所定の集積場所」に排出された再生資源等を無断で持ち去ることを禁止している。

■PDCAサイクル

Plan（計画）、Do（実施）、Check（点検）、Action（是正）を意味し、品質向上のためのシステム的な考え方をいう。管理計画を作成（Plan）し、その計画を組織的に実行（Do）し、その結果を内部で点検（Check）し、不都合な点を是正（Action）したうえでさらに、元の計画に反映させていくことで、らせん状に、品質の維持・向上や環境の継続的改善を図ろうとするもの。

■ひと声ふれあい収集

家庭から排出されるごみや再生資源をごみステーション等に持ち出すことが困難な世帯に対して、戸別訪問を行いごみ等の収集を実施し、併せてひと声かけることにより、高齢者や障害者の方々とのコミュニケーションを図り、安否の確認を行っている。

■ビルピット

ビルの汚水などを公共下水道に排出するまでの間、一時貯留するための排水槽。

■フードドライブ

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動のこと。

■フードバンク

「食品銀行」を意味する社会福祉活動のこと。食品製造業や流通業、小売店等で、まだ食べることができるが、販売をするには賞味期限が残り少ない食べ物を、食べ物に困っている方につなげる活動を行っている。

や行

■容器包装リサイクル法

正式には「容器包装に係る分別収集及び再商品化促進等に関する法律」。平成3年（1991年）に施行された再生資源利用促進法（リサイクル法）に続き、新リサイクル法として平成7年（1995年）6月に成立、平成9年度（1997年度）より施行。容器包装を製造・利用する特定事業者には再生利用の義務を課している。また、市町村は容器包装リサイクル法の対象品目の発生量、回収量、分別方法、収集方法等に関する計画を3年毎に5年を1期とする計画（分別収集計画）の策定が求められている。

容器包装リサイクル法は、平成18年（2006年）6月に大きく改正され、容器包装を一定量以上利用する事業者に対する排出抑制の取組み状況報告の義務付け、再商品化の義務を果たさない事業者に対する罰則の強化、質の高い分別収集・再商品化を促進するため、事業者が市町村に資金を拠出する仕組みの創設等の見直しがなされた。

■溶融スラグ

ごみ焼却施設で、焼却に伴って発生する焼却灰を高温で溶かし、冷却、固化させたもの。焼却灰よりも容積を減らすことができ、最終処分場の延命化につながる。また道路工事等に用いる路盤材としてリサイクルすることもできる。焼却灰

を熔融スラグにすることを「熔融スラグ化」という。

■余熱利用

ごみ焼却施設などで、焼却に伴って発生する熱を有効利用すること。利用方法として、発電、蒸気として暖房などへの利用、給湯などがある。

ら行

■リサイクル（recycle：再生利用）

紙・鉄くず・アルミニウム・ガラスびん・布などの循環資源を原料に戻して、再び製品にして使用することをいう。広義には、リユース（再使用）を含める場合もある。

■リデュース（reduce：発生抑制）

切り詰める、縮小する、減らすという意味で、ごみの発生抑制のこと。

過剰な消費をやめて適正な購入を行うこと。

■リユース（reuse：再使用）

循環資源を製品としてそのまま、あるいは修理を行って使用すること。製品の一部を他の製品に使用する場合もリユースに含む。

第 4 次豊中市一般廃棄物処理基本計画

発行日 平成 30 年 3 月 26 日

編集・発行 豊中市環境部減量計画課

〒561-0891 豊中市走井 2 丁目 5 番 5 号

電話：06-6858-2279

ファクス：06-6843-3501

